

令和7年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会
なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を目指します。

(1) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(2) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(3) 元氣になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(4) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育方針・目標に沿った保育活動を行う、主体性を大事にしながら何を経験し、培っていくかを職員皆で話し合い、良い活動となるように計画を立てていく。

国で進められる新たな事業にも積極的に展開し、地域ニーズを叶えるような活動を行って行く。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育・保育理念・方針の明文化と周知	入園説明会や、各行事の際に理念と方針のもと活動を展開していくことをご理解いただけるように繰り返しお伝えしていく。重要事項の説明も丁寧に行って行く。
② 認定こども園教育・保育要領への対応	子どもの主体的活動ができる環境作りに職員皆で意見を出し合い設定できるようにしていく。
③ 職員の資質・保育の質の向上	救命救急講習を年に一度必ず園内研修を行い、緊急事態に対処できる体制を整えていく。色々な大学との研究や交流を等して最新の教育保育を学ぶ機会を作る
④ 保幼小中の連携	学校訪問・見学を通して、実際の学校に行く体験を小学校と作っていく。小学校との連携も情報交換や、職員の交流の機会を作り、密にできる活動を今後も進めて参りたい。
⑤ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を継続して訓練していく。
⑥ 保育指導内容検討委員会	昨今不適切保育が報道され、色々な関心の対象となっている。保育指導内容を客観的に検討する、この委員会は中立

	性をもって、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。
--	---

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子どもの興味関心を引き出す主体性保育の活動行事を中心とした保育に見直し、子どもが自分の行える興味のあることを保護者の皆様見ていただく、成長の機会を感じていただく活動に切り替えて、2年目を迎えたが、子どもにも無理がなく、先生方も余裕をもって保育が行えるようになっていったことが感じられる。今後も子ども中心の教育保育の確立に努めて参りたい。 早稲田大学や色々な大学と連携し櫃の向上に努めた。色々な専門の方々に園の様子を見ていただける機会を多くすることによって、率直なフィードバックをいただける機会を大切にし、今後も最新の教育保育を学んで参りたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	職員同士が常に保育や環境について話し合えるような職員同士の件恋の構築を大切にし、思考する集団づくりに努めて参りたい。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。特に行事のボトムアップを行ってまいりたい。
教育・保育内容	急速な少子化が進む中、保護者やご家庭が安心してお子さんを預けられる園を目指し、育児の負担を少しでも解消できるような支援を今後益々進めていく必要がある。しっかりと検討し法人として取り組んでまいりたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3-①	行事や普段の保育を見させていただく機会の中で、方針目標を大切にしながら教育保育を行っていることが伺える。今後とも周知に努めていていただきたい。
3-②	行事内容が変わってきているのを感じる。コロナ以降時間を区切ったの活動をしていて、他のクラスの成長の様子を見ることはできなくなっているが、子ども達や保護者の方は穏やかに行事等にも参加できているのではないかな。主体性が浸透していているように感じる。
3-③	地域の公益活動や大学とのコラボレーションなど、新たに様々な事にチャレンジしている姿勢がうかがえる。新たな活動は負担も多いと思うが、地域や社会の流れを把握していく姿勢は大切であると感じる。
3-④	学校運営協議会の活動など光輪会が積極的に行っている様子が地域の中でも聞かれる。「子ども達の文化の祭典」なども理事長が中心となり地域の子どもの活動の場を地域の方々皆にしていっていただきたいという思いが伝わる素晴らしい活動であったと良く話が出ている。

3－⑤	色々な事件や事故が起こっている。開放的な空間にすることも利用者の観点からは必要であるが、セキュリティーに関しては厳重に行っていたきたい。訓練等は見学する機会があったが、素晴らしい取り組みがなされていると感じる。
3－⑥	不適切保育や虐待など通報が義務化されてきており、県や市などにも悪悪の情報が寄せられるようになってきていると聞いている。ガバナンスの確保と、職員の方々が安心して主労働出来るような職場環境、保育環境作りをお願い致します。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様にも光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等をお話ししご意見を頂いた。

公益活動に関して、学校運営協議会の事業活動の様子が地域の中では色々な機会に話されている。とても良い活動であったとの評価がなされているようである。今後も地域に中で喜ばれるような活動を行って行っていただきたい。

学童のサマープレイスは、テレビでも放映されかなりの話題になった。行政から新たな事業を光輪会に行っていただきたいと頼まてるような取り組みは素晴らしいと思う。今後も無理のない範囲で地域のため行政の依頼に対する協力は必要とされる法人を作っていくうえでも必要な事であると感じる。頑張ってください。

少子化の進行がかなり進んできていることから今後の年齢ごとの受け入れの定員や職員の配置など先を見越した運営の検討をしていることが分かった。支援センターの取り組みを充実させていきたいとの考えに賛同いたします。

今後とも社会の情勢をしっかりと考え光輪会の進むべき方向を検討していただきたいと思います。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であった。少子化もどうなっていくかわからないため、今必要な方策をしっかりと取って参りたい。

食育や子ども達の農園などの活動もより進め、子どもたち自ら収穫、食育までつなげた生きる力を培う教育保育の実践を行ってまいりたい。

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を目指します。

(5) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(6) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(7) 元氣になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(8) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育方針・目標に沿った保育活動を行う、主体性を大事にしながら何を経験し、培っていくかを職員皆で話し合い、良い活動となるように計画を立てていく。

国で進められる新たな事業にも積極的に展開し、地域ニーズを叶えるような活動を行って行く。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
⑦ 教育・保育理念・方針の明文化と周知	入園説明会や、各行事の際に理念と方針のもと活動を展開していくことをご理解いただけるように繰り返しお伝えしていく。重要事項の説明も丁寧に行って行く。
⑧ 認定こども園教育・保育要領への対応	子どもの主体的活動ができる環境作りに職員皆で意見を出し合い設定できるようにしていく。
⑨ 職員の資質・保育の質の向上	救命救急講習を年に一度必ず園内研修を行い、緊急事態に対処できる体制を整えていく。色々な大学との研究や交流を等して最新の教育保育を学ぶ機会を作る
⑩ 保幼小中の連携	学校訪問・見学を通して、実際の学校に行く体験を小学校と作っていく。小学校との連携も情報交換や、職員の交流の機会を作り、密にしできる活動を今後も進めて参りたい。
⑪ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を継続して訓練していく。
⑫ 保育指導内容検討委員会	昨今不適切保育が報道され、色々な関心の対象となっている。保育指導内容を客観的に検討する、この委員会は中立性をもって、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めて

	いく。
--	-----

4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子どもの興味関心を引き出す主体性保育の活動行事を中心とした保育に見直し、子どもが自分の行える興味のあることを保護者の皆様見ていただく、成長の機会を感じていただく活動に切り替えて、2年目を迎えたが、子どもにも無理がなく、先生方も余裕をもって保育が行えるようになっていったことが感じられる。今後も子ども中心の教育保育の確立に努めて参りたい。 早稲田大学や色々な大学と連携し櫃の向上に努めた。色々な専門の方々に園の様子を見ていただける機会を多くすることによって、率直なフィードバックをいただける機会を大切にし、今後も最新の教育保育を学んで参りたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	職員同士が常に保育や環境について話し合えるような職員同士の件恋の構築を大切にし、思考する集団づくりに努めて参りたい。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。特に行事のボトムアップを行ってまいりたい。
教育・保育内容	急速な少子化が進む中、保護者やご家庭が安心してお子さんを預けられる園を目指し、育児の負担を少しでも解消できるような支援を今後益々進めていく必要がある。しっかりと検討し法人として取り組んでまいりたい。

6.評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3-①	行事や普段の保育を見させていただく機会の中で、方針目標を大切にしながら教育保育を行っていることが伺える。今後とも周知に努めていていただきたい。
3-②	行事内容が変わってきているのを感じる。コロナ以降時間を区切ったの活動をしていて、他のクラスの成長の様子を見ることはできなくなっているが、子ども達や保護者の方は穏やかに行事等にも参加できているのではないかと感じる。主体性が浸透していているように感じる。
3-③	地域の公益活動や大学とのコラボレーションなど、新たに様々な事にチャレンジしている姿勢がうかがえる。新たな活動は負担も多いと思うが、地域や社会の流れを把握していく姿勢は大切であると感じる。
3-④	学校運営協議会の活動など光輪会が積極的に行っている様子が地域の中でも聞かれる。「子ども達の文化の祭典」なども理事長が中心となり地域の子どもの活動の場を地域の方々皆にしていっていただきたいという思いが伝わる素晴らしい活動であったと良く話が出ている。

3－⑤	色々な事件や事故が起こっている。開放的な空間にすることも利用者の観点からは必要であるが、セキュリティーに関しては厳重に行っていたきたい。訓練等は見学する機会があったが、素晴らしい取り組みがなされていると感じる。
3－⑥	不適切保育や虐待など通報が義務化されてきており、県や市などにも悪悪の情報が寄せられるようになっていていると聞いている。ガバナンスの確保と、職員の方々が安心して主労働出来るような職場環境、保育環境作りをお願い致します。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様にも光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等をお話ししご意見を頂いた。

公益活動に関して、学校運営協議会の事業活動の様子が地域の中では色々な機会に話されている。とても良い活動であったとの評価がなされているようである。今後も地域に中で喜ばれるような活動を行って行っていただきたい。

学童のサマープレイスは、テレビでも放映されかなりの話題になった。行政から新たな事業を光輪会に行っていただきたいと頼まてるような取り組みは素晴らしいと思う。今後も無理のない範囲で地域のため行政の依頼に対する協力は必要とされる法人を作っていくうえでも必要な事であると感じる。頑張ってください。

少子化の進行がかなり進んできていることから今後の年齢ごとの受け入れの定員や職員の配置など先を見越した運営の検討をしていることが分かった。支援センターの取り組みを充実させていきたいとの考えに賛同いたします。

今後とも社会の情勢をしっかりと考え光輪会の進むべき方向を検討してってくださいとお言葉をいただいた。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であった。少子化もどうなっていくかわからないため、今必要な方策をしっかりと取って参りたい。

食育や子ども達の農園などの活動もより進め、子どもたち自ら収穫、食育までつなげた生きる力を培う教育保育の実践を行ってまいりたい。

令和7年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会
和光なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を目指します。

(9) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(10) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(11) 元気になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(12) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育方針・目標に沿った保育活動を行う、主体性を大事にしながら何を経験し、培っていくかを職員皆で話し合い、良い活動となるように計画を立てていく。

国で進められる新たな事業にも積極的に展開し、地域ニーズを叶えるような活動を行って行く。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
⑬ 教育・保育理念・方針の明文化と周知	入園説明会や、各行事の際に理念と方針のもと活動を展開していくことをご理解いただけるように繰り返しお伝えしていく。重要事項の説明も丁寧に行って行く。
⑭ 認定こども園教育・保育要領への対応	子どもの主体的活動ができる環境作りに職員皆で意見を出し合い設定できるようにしていく。
⑮ 職員の資質・保育の質の向上	救命救急講習を年に一度必ず園内研修を行い、緊急事態に対処できる体制を整えていく。色々な大学との研究や交流を等して最新の教育保育を学ぶ機会を作る
⑯ 保幼小中の連携	学校訪問・見学を通して、実際の学校に行く体験を小学校と作っていく。小学校との連携も情報交換や、職員の交流の機会を作り、密にしできる活動を今後も進めて参りたい。
⑰ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を継続して訓練していく。
⑱ 保育指導内容検討委員会	昨今不適切保育が報道され、色々な関心の対象となっている。保育指導内容を客観的に検討する、この委員会は中立性をもって、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資

	質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。
--	-------------------------------

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子どもの興味関心を引き出す主体性保育の活動行事を中心とした保育に見直し、子どもが自分の行える興味のあることを保護者の皆様見ていただく、成長の機会を感じていただく活動に切り替えて、2年目を迎えたが、子どもにも無理がなく、先生方も余裕をもって保育が行えるようになっていったことが感じられる。今後も子ども中心の教育保育の確立に努めて参りたい。

早稲田大学や色々な大学と連携し櫃の向上に努めた。色々な専門の方々に園の様子を見ていただける機会を多くすることによって、率直なフィードバックをいただける機会を大切に、今後も最新の教育保育を学んで参りたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	職員同士が常に保育や環境について話し合えるような職員同士の件恋の構築を大切に、思考する集団づくりに努めて参りたい。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。特に行事のボトムアップを行ってまいりたい。
教育・保育内容	急速な少子化が進む中、保護者やご家庭が安心してお子さんを預けられる園を目指し、育児の負担を少しでも解消できるような支援を今後益々進めていく必要がある。しっかりと検討し法人として取り組んでまいりたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3-①	行事や普段の保育を見させていただく機会の中で、方針目標を大切にしながら教育保育を行っていることが伺える。今後とも周知に努めていただきたい。
3-②	行事内容が変わってきているのを感じる。コロナ以降時間を区切ったの活動をしていて、他のクラスの成長の様子を見ることはできなくなっているが、子ども達や保護者の方は穏やかに行事等にも参加できているのではないかと感じる。主体性が浸透していているように感じる。
3-③	地域の公益活動や大学とのコラボレーションなど、新たに様々な事にチャレンジしている姿勢がうかがえる。新たな活動は負担も多いと思うが、地域や社会の流れを把握していく姿勢は大切であると感じる。
3-④	学校運営協議会の活動など光輪会が積極的に行っている様子が地域の中でも聞かれる。「子ども達の文化の祭典」なども理事長が中心となり地域の子どもの活動の場を地域の方々皆にしていっていただきたいという思いが伝わる素晴らしい活動であったと良く話が出ている。

3－⑤	色々な事件や事故が起きている。開放的な空間にすることも利用者の観点からは必要であるが、セキュリティーに関しては厳重に行っていたきたい。訓練等は見学する機会があったが、素晴らしい取り組みがなされていると感じる。
3－⑥	不適切保育や虐待など通報が義務化されてきており、県や市などにも悪悪の情報が寄せられるようになってきていると聞いている。ガバナンスの確保と、職員の方々が安心して主労働出来るような職場環境、保育環境作りをお願い致します。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様は光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等をお話ししご意見を頂いた。

公益活動に関して、学校運営協議会の事業活動の様子が地域の中では色々な機会に話されている。とても良い活動であったとの評価がなされているようである。今後も地域に中で喜ばれるような活動を行って行っていただきたい。

学童のサマープレイスは、テレビでも放映されかなりの話題になった。行政から新たな事業を光輪会に行っていただきたいと頼まてるような取り組みは素晴らしいと思う。今後も無理のない範囲で地域のため行政の依頼に対する協力は必要とされる法人を作っていくうえでも必要な事であると感じる。頑張っていたきたい。

少子化の進行がかなり進んできていることから今後の年齢ごとの受け入れの定員や職員の配置など先を見越した運営の検討をしていることが分かった。支援センターの取り組みを充実させていきたいとの考えに賛同いたします。

和光なかよしこども園の小学校との連携は素晴らしい、校長先生が園に来ていただくような交流も展開できているのはとても良い活動であると感じる。園長の県での発表の機会があるとの事、しっかりと活動を発表していただきたい。

今後とも社会の情勢をしっかりと考え光輪会の進むべき方向を検討していってくださいとお言葉をいただいた。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であった。少子化もどうなっていくかわからないため、今必要な方策をしっかりと取って参りたい。

和光なかよしこども園は、来年度から土地の賃借料も支払うことになる、借入金もなるべく早めに返済できるようにして参りたい。

食育や子ども達の農園などの活動もより進め、子どもたち自ら収穫、食育までつなげた生きる力を培う教育保育の実践を行ってまいりたい。